

令和7年度 第1回 学校評価アンケート結果

羅針盤			評価				現況分析と今後の課題
評価対象	評価項目	具体的方策	総合	生徒	保護者	教職員	
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めている。	1 特色ある教育活動を行っている。	1 地域や社会の期待を踏まえ、学校の特色化を積極的に進めている。	A 92.0%	A 89.0%	A 96.0%	A 88.3%	「総合的な探究の時間」を柱とした本校の教育活動が県内外で認知され始めている。今後も、生徒が予測困難な時代を生き抜くための学力および非認知能力の育成に力を入れていく。
	2 文武両道を目指し、地域や保護者の期待に応えている。	2 生徒や保護者が満足するような教育活動を進めている。	A 91.4%	A 89.8%	A 93.3%	A 91.1%	保護者や地域と連携し、社会に開かれた学校づくりを推進している。学校や保護者、社会が包括的に生徒を育てる学校づくりを進め、多様な生徒の成長を支えていきたい。
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしている。	3 生徒の実態に応じた指導を行っている。	3 学習内容の定着を図るための課題を課している。	A 88.6%	A 90.1%	A 87.2%	A 84.7%	現在、各教科が授業内で様々な方法（レポートやポートフォリオ、作品など）で生徒の学習の状況を見取りを行い、単元テストや定期テストで学力の定着を図っている。今後も色々な視点から生徒の学力を体系的に評価していきたい。
	4 生徒は確かな学力を身につけている。	4 生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	A 88.4%	A 89.9%	A 86.3%	A 89.8%	
	5 生徒に自主的な学習を喚起している。	5 生徒の主体性や協働性を高める授業や活動を行っている。	A 93.0%	A 92.7%	A 93.4%	A 91.8%	「総合的な探究の時間」を中心に、生徒が主体的・協働的に取り組む授業づくりを推進している。本年度から、一人一人の学習進度に応じた個別最適化学習のツールとして、新たに記憶定着アプリであるmonoxerを導入した。授業内だけでなく朝や放課後を利用して学習する生徒が増加している。今後も生徒が意欲的に自立して学習できる仕組みを進めていきたい。
		6 放課後などに生徒が意欲的に学習に取り組める環境や施設が整っている。	A 89.9%	A 91.7%	A 89.2%	B 73.1%	
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしている。	6 組織的・継続的な指導を行っている。	7 生徒が社会のルールや学校の規則をきちんと守っている。	A 85.0%	A 81.0%	A 89.9%	A 86.4%	規則を遵守している生徒は多く、学校全体の雰囲気は良好であると言える。一方、写真や動画の撮影、SNSに関するトラブルは今後も心配されるため、「デジタルシティズンシップ教育」の観点を重視しながら、注意すべき点については繰り返し指導している。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っている。	8 日頃から保健に関する指導が行き届いており、健康管理に配慮されている。	A 90.5%	A 90.9%	A 89.8%	A 94.1%	環境保健部と養護担当が連携しながら生徒の健康管理・指導を進めている。事故や怪我の対応だけでなく、生徒の校内での心理的安全を意識した心のケアにも力を入れている。
	8 生徒が安心安全に学校生活が送れるよう指導や配慮ができています。	9 登校時の交通安全指導や学校生活の中で事故が起こらないよう、指導が徹底されている。	A 91.2%	A 93.6%	A 87.8%	A 96.1%	登下校時の交通安全指導に加え、年度当初に警察による「交通安全教室」を開催したほか、PTA役員や高崎市のご協力を賜り「マナーアップ運動」や「ヘルメット着用啓発運動」を実施した。事故の発生件数は落ち着いているが、引き続き事故防止に注力したい。
		10 生徒の悩みを聞き、相談できる体制ができています。	A 84.7%	A 86.6%	A 81.8%	A 91.3%	教育相談係が中心となり、スクールカウンセラーの活用を積極的に促しているほか、担任との二者面談を継続的に行之、生徒の悩みを受け止めている。一人一台端末を利用したアンケートも実施しているが、拡充を図り、生徒が相談し易い環境作りに努めたい。
	9 生徒は積極的に学校行事や部活動に取り組んでいる。	11 学校行事に関して、生徒が主体的に取り組むことのできる内容になっている。	A 93.4%	A 93.0%	A 94.5%	A 86.1%	今年度は文化祭の開催を予定しており、生徒会や実行委員会が中心となって活発に準備を進めている。全校生徒が関わる新規企画も考案して実現するなど、行事を通して生徒が主体性を発揮している様子がうかがえる。その姿勢を今後も支えていきたい。
		12 部活動が活発で充実している。	A 96.9%	A 97.5%	A 96.4%	A 94.2%	運動部、文化部を問わず大変充実した活動が展開され、多くの生徒が部活動を通して活躍しており、全国大会等でも入賞者を輩出している。地域からの期待も大きく、満足度の高さは、名実ともに本校の教育活動の柱となっていることを示している。
		13 生徒がいじめについて考えたり、話し合ったりする機会を作っている。	A 89.7%	A 95.9%	A 81.4%	A 97.1%	生徒会の主導により「いじめ防止活動」を新設し、学年・クラスの枠を超えて生徒たちが話し合いながら、いじめ防止ポスターを作成するなど、いじめ防止に対する意識が着実に向上している。今後はそうした取り組みを保護者にも十分に周知していきたい。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な進路指導を行っている。	14 生徒が進学に向けて意欲的に取り組めるような講座や補習などが行われている。	A 91.0%	A 93.0%	A 89.4%	A 82.0%	7限特別講座や長期休業中の集中講座、外部講師による講座など、生徒の状況や学年の意向を踏まえて講座を計画・実施している。しかし、年間を通して講座回数や担当者の確保が難しく、継続した学力向上への指導が図れていないのが課題である。目的のもと、中身のある有意義な講座の運営を実施していかないといけない。
	11 適切な進路情報を提供している。	15 進路講演や高大連携事業、大学見学会などを通し、進路検討に役立つ機会が設けられている。	A 94.5%	A 96.5%	A 92.2%	A 92.1%	進路相談会や大学進学博、大学見学会、大学出前授業など、校内外で学問や職業について理解を深める機会を設定している。また、高大連携事業や職業人インタビューをはじめ、キャリア教育関連の取り組みを多く提供している。特に1年次から職業観などについて視野を広げる機会を頻繁に提供していきたい。Classiを活用し、進路情報・キャリア教育関係の発信も年々増えている。
	12 生徒それぞれの進路実現のために個別指導を行っている。	16 進路相談や小論文指導、面接練習指導などが手厚く行われている。	A 85.3%	A 91.1%	B 77.8%	A 88.9%	多様な進路希望に合わせ、小論文指導や面接練習指導、教科指導など、個別指導を徹底している。また、Classiやスタディサブリを活用し、個別最適化された学習にも取り組むことができる。定期考査、模擬試験後の二者面談等の充実も図り、生徒たちの進路実現に繋がっていければ考える。研修を通して教師の指導スキルの向上に努めていきたい。
	13 資格取得や検定対策を行っている。	17 検定を受験する機会を設け、検定対策指導が行われている。	A 89.6%	A 93.0%	A 85.6%	A 87.0%	英語検定や漢字検定、数学検定などの各種検定の受検機会を多く設定している。検定取得に向けた事前指導やサポートについては、各教科の指導や協力によるところが大きいが、教員の負担が大きいくとも現状である。1年生実施のLiteras論理言語力検定の事前指導が計画的に組まれていなかったため、次年度に改善を繋げる。
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めている。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしている。	18 ホームページから必要な情報が得られ、学校の様子がよくわかる。	A 86.9%	A 89.8%	A 83.5%	A 84.6%	今後も、保護者や地域の人々、入学を希望する中学生等にも本校の様子や魅力が伝わるように情報発信を進めていく。
	15 保護者との連携をもって教育活動を効果的に推進している。	19 生徒から保護者へ学校の様子が伝わっており、学校の配布物がきちんと届いている。	A 86.9%	A 91.1%	A 82.1%	A 83.2%	配布物の内容をClassiでも配信することで、保護者に確実に情報に届くようになってきている。今後も適切に情報が渡るよう努める。
		20 「Classi」(学校一斉配信メール)で重要な情報が保護者にきちんと伝えられている。	A 96.4%	—	A 96.7%	A 94.2%	
		21 PTA活動を通して保護者も学校の教育活動に参画することができる。	A 90.7%	—	A 90.7%	A 90.3%	

備考：

- 1) 2025年(令和7年) 7月実施
2) 有効回答数-生徒1248名(98.0%)・保護者935名(73.4%)・教職員104名(99.0%)